

本場食品衛生検査所

理化学検査情報

Vol.62 2021 No.5
令和3年7月発行



今号の内容:令和3年4月から6月までに検査した

残留農薬検査結果
放射性物質検査結果
総水銀検査結果
自然毒検査結果
動物用医薬品検査結果

横浜市健康福祉局中央卸売市場本場食品衛生検査所

電話: 045-441-1153

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kenko-iryo/shoku/shokuhineisei/>

1 残留農薬検査

令和3年4月から6月までの残留農薬検査は、国産農産物20検体(14種)、について実施しました。このうち農薬を検出した検体数は10検体(15農薬)で、残留基準値を超えた検体はありませんでした。

なお、収去(しゅうきょ)とは食品衛生法及び食品表示法に基づく食品等の抜き取り検査のことを言います。

(1) 国産農産物検査結果 検出値、基準値:検体1kgあたりに含まれる農薬のmg数(ppm)

検体名	産地	収去日	収去場所	検出農薬	結果	基準値
トマト	神奈川県	令和3年4月15日	南部市場			
チンゲンサイ	茨城県	令和3年4月15日	南部市場	イミダクロプリド	0.07	5
				クロチアニジン	0.02	10
ニラ	茨城県	令和3年4月15日	南部市場	イミダクロプリド	0.07	0.7
ネギ	静岡県	令和3年4月15日	南部市場	アゾキシストロピン	0.10	10
				フルフェノクスロン	0.01	10
キョウナ	茨城県	令和3年4月15日	南部市場			
ダイコンの根	千葉県	令和3年5月20日	本場市場			
ハクサイ	茨城県	令和3年5月20日	本場市場			
キャベツ	茨城県	令和3年5月20日	本場市場			
トマト	群馬県	令和3年5月20日	本場市場			
レタス	群馬県	令和3年5月20日	本場市場	チアメトキサム	0.03	3
キョウナ	茨城県	令和3年6月7日	南部市場	チアメトキサム	0.01	3
ネギ	静岡県	令和3年6月7日	南部市場			
ニラ	茨城県	令和3年6月7日	南部市場	クレソキシムメチル	0.5	25
チンゲンサイ	茨城県	令和3年6月7日	南部市場	クロチアニジン	0.01	10
				シフルフェナミド	0.01	0.5
トマト	愛知県	令和3年6月7日	南部市場	ピラクロストロピン	0.04	0.5
				ボスカリド	0.24	5
ブロッコリー	新潟県	令和3年6月10日	本場市場	アゾキシストロピン	0.01	5
				チアメトキサム	0.02	5
キュウリ	埼玉県	令和3年6月10日	本場市場	プロシミドン	0.04	4
サツマイモ	千葉県	令和3年6月10日	本場市場			
ニンジン	千葉県	令和3年6月10日	本場市場			
スイカ	千葉県	令和3年6月10日	本場市場			

検出した農薬について

農薬名	種類	特徴
アゾキシストロピン	ストロビルリン系殺菌剤	1992年に開発された。ミトコンドリアのチトクローム bc1 複合体の Qo 部位に結合することで電子伝達系を阻害し、菌の呼吸を阻害すると考えられる。なお、本化合物の有効成分は立体異性体のうち E 体のみである。
イミダクロプリド	クロロニコチル系殺虫剤	1985年に日本企業により開発された。作用機構はニコチン性アセチルコリン受容体に対するアゴニスト作用である。日本では1992年に初めて農薬登録された。
クレソキシムメチル	ストロビルリン系殺菌剤	作用機構はミトコンドリア内のチトクローム電子伝達系阻害による呼吸障害で、結果として孢子発芽および菌糸伸長を阻害すると考えられている。日本では1997年に初めて農薬登録された。
クロチアニジン	ネオニコチノイド系殺虫剤	1988年に日本企業で開発された。作用機構は昆虫中枢神経系のニコチン性アセチルコリン受容体に対するアゴニスト作用である。日本では2002年に初めて農薬登録された。
シフルフェナミド	アミドキシム系殺菌剤	日本で開発され、麦類、いちご、メロン等のうどんこ病および灰星病に防除効果を示す。作用機序は解明されていない。海外では韓国、イスラエルで登録されており日本では2002年12月に初めて農薬登録された。
チアメトキサム	ネオニコチノイド系殺虫剤	作用部位は昆虫中枢神経系のニコチン性アセチルコリン受容体である。日本では2002年に初めて農薬登録がなされた。
ピラクロストロピン	ストロビルリン系の殺菌剤	1993年に開発された。ミトコンドリア内のチトクローム電子伝達系阻害による呼吸阻害により、殺菌活性を示す。外国ではスイス、ドイツ、フランス等で登録されている。日本では2006年9月に初回登録された。
フルフェノクスロン	ベンゾフェニル系殺虫剤	作用機序はキチン質の合成阻害によるものである。欧米諸国や中南米、アフリカ諸国等40か国以上で農薬登録されており、日本では1993年に初めて登録された。
プロシモドン	ジカルボキシイミド系殺菌剤	植物病原菌(灰色かび病、菌核病等)に対し、菌糸の伸張育成を阻害すると考えられている。日本では1981年に初めて農薬登録された。

農薬名	種類	特徴
ボスカリド	アニリド系殺菌剤	1992年に発見された。ミトコンドリア内膜のコハク酸脱水素酵素系複合体の電子伝達を阻害することで灰色かび病、菌核病に効果を示す。日本では2005年に初めて農薬登録された。

参考：内閣府食品安全委員会 食品安全情報システム 評価書

環境省 水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準について

農業工業会

2 放射性物質検査

令和3年4月から6月までの放射能検査は、水産物 30 検体、農産物 6 検体、福祉保健センター等からの依頼検査 11 検体の合計 47 検体について実施しました。基準値を超えた検体はありませんでした。

放射性セシウムの基準値はセシウム 134 とセシウム 137 の合計で設定されています。

- 乳児用食品については 1kg あたり 50 ベクレル以下
- 飲料水については 1kg あたり 10 ベクレル以下
- 牛乳については 1kg あたり 50 ベクレル以下
- その他、一般食品については 1kg あたり 100 ベクレル以下

(1) 水産物検査結果

セシウム検出値、合計: 1 kgあたりのベクレル数

検体名	産地	漁獲水域	買取日	セシウム134 検出値	セシウム137 検出値	セシウム 合計	備考
ニシン	北海道	北海道沖根室港	令和3年4月2日	不検出	不検出	不検出	天然
サワラ	千葉県	千葉県沖銚子港	令和3年4月2日	不検出	不検出	不検出	天然
ブリ(イナダ)	千葉県	千葉県沖銚子港	令和3年4月2日	不検出	不検出	不検出	天然
ババガレイ(ナメタガレイ)	宮城県	宮城県沖石巻港	令和3年4月9日	不検出	不検出	不検出	天然
ヤリイカ	宮城県	宮城県沖石巻港	令和3年4月9日	不検出	不検出	不検出	天然
ギンザケ	宮城県	宮城県沖石巻港	令和3年4月9日	不検出	不検出	不検出	養殖
キンメダイ	千葉県	千葉県沖勝浦港	令和3年4月9日	不検出	不検出	不検出	天然
ブリ(イナダ)	千葉県	日立鹿島沖銚子港	令和3年4月23日	不検出	不検出	不検出	天然
ババガレイ(ナメタガレイ)	岩手県	三陸北部宮古港	令和3年4月23日	不検出	不検出	不検出	天然
サクラマス(ホンマス)	宮城県	三陸南部気仙沼港	令和3年4月23日	不検出	不検出	不検出	天然
ヤリイカ	岩手県	岩手県沖宮古港	令和3年5月7日	不検出	不検出	不検出	天然
ブリ(イナダ)	神奈川県	神奈川県沖三崎港	令和3年5月7日	不検出	不検出	不検出	天然
マダイ	福島県	福島県沖相馬港	令和3年5月7日	不検出	不検出	不検出	天然
ババガレイ(ナメタガレイ)	宮城県	宮城沖石巻港	令和3年5月14日	不検出	不検出	不検出	天然
ヤリイカ	宮城県	宮城沖石巻港	令和3年5月14日	不検出	不検出	不検出	天然
メカジキ	宮城県	宮城沖気仙沼港	令和3年5月14日	不検出	不検出	不検出	天然
ギンザケ	宮城県	宮城沖石巻港	令和3年5月14日	不検出	不検出	不検出	養殖
ヒラメ	福島県	福島県沖相馬港	令和3年5月21日	不検出	不検出	不検出	天然
カツオ	宮城県	日立鹿島沖気仙沼港	令和3年5月21日	不検出	不検出	不検出	天然
サクラマス(ホンマス)	宮城県	三陸南部気仙沼港	令和3年5月21日	不検出	不検出	不検出	天然
ジンドウイカ(ヒイカ)	宮城県	宮城県沖石巻港	令和3年6月4日	不検出	不検出	不検出	天然
ババガレイ(ナメタガレイ)	宮城県	宮城県沖石巻港	令和3年6月4日	不検出	不検出	不検出	天然
ギンザケ	宮城県	宮城県沖石巻港	令和3年6月4日	不検出	不検出	不検出	養殖
ヒラメ	青森県	青森県沖下北港	令和3年6月4日	不検出	不検出	不検出	天然

検体名	産地	漁獲水域	買取日	セシウム134 検出値	セシウム137 検出値	セシウム 合計	備考
マイワシ	北海道	北海道青森県沖厚岸港	令和3年6月11日	不検出	不検出	不検出	天然
スズキ(フッコ)	千葉県	千葉県沖船橋港	令和3年6月11日	不検出	不検出	不検出	天然
カツオ	千葉県	千葉県沖勝浦港	令和3年6月11日	不検出	不検出	不検出	天然
ヒラメ	青森県	青森県沖横浜港	令和3年6月25日	不検出	不検出	不検出	天然
マコガレイ	青森県	青森県沖横浜港	令和3年6月25日	不検出	不検出	不検出	天然
マイワシ	千葉県	日立鹿島沖銚子港	令和3年6月25日	不検出	不検出	不検出	天然

(2) 農産物検査結果

セシウム検出値、合計:1 kgあたりのベクレル数

検体名	産地	買取日	セシウム134 検出値	セシウム137 検出値	セシウム合計	備考
ダイコン	千葉県	令和3年5月28日	不検出	不検出	不検出	露地
ネギ	千葉県	令和3年5月28日	不検出	不検出	不検出	露地
ハクサイ	茨城県	令和3年5月28日	不検出	不検出	不検出	露地
ニンジン	千葉県	令和3年6月18日	不検出	不検出	不検出	露地
キュウリ	福島県	令和3年6月18日	不検出	不検出	不検出	ハウス
スイカ	千葉県	令和3年6月18日	不検出	不検出	不検出	露地

(3) 福祉保健センター等からの依頼検査結果

セシウム検出値、合計:1 kgあたりのベクレル数

検体名	食品分類	産地	依頼部署	買取日	セシウム134 検出値	セシウム137 検出値	セシウム合計
調製粉乳	乳児用食品	国産	健康福祉局	令和3年5月20日	不検出	不検出	不検出
調製粉乳	乳児用食品	国産	健康福祉局	令和3年5月20日	不検出	不検出	不検出
調製液状乳	乳児用食品	国産	健康福祉局	令和3年5月20日	不検出	不検出	不検出
レトルトパウチ食品	乳児用食品	国産	健康福祉局	令和3年5月20日	不検出	不検出	不検出
レトルトパウチ食品	乳児用食品	国産	健康福祉局	令和3年5月20日	不検出	不検出	不検出
清涼飲料水	乳児用食品	国産	健康福祉局	令和3年5月20日	不検出	不検出	不検出
清涼飲料水	乳児用食品	国産	健康福祉局	令和3年5月20日	不検出	不検出	不検出
清涼飲料水	乳児用食品	国産	健康福祉局	令和3年5月20日	不検出	不検出	不検出
清涼飲料水	乳児用食品	国産	健康福祉局	令和3年5月20日	不検出	不検出	不検出
乾めん	乳児用食品	国産	健康福祉局	令和3年5月20日	不検出	不検出	不検出
乾燥野菜類	乳児用食品	国産	健康福祉局	令和3年5月20日	不検出	不検出	不検出

3 総水銀検査

令和3年4月から6月までの魚介類の総水銀検査は、15検体(8魚種)について実施しました。いずれも基準値を超えた検体はありませんでした。

なお、収去(しゅうきょ)とは食品衛生法及び食品表示法に基づく食品等の抜き取り検査のことを言います。

魚介類の水銀の暫定的規制値:検体1kgあたり総水銀0.4mgかつメチル水銀0.3mg

総水銀検査結果		検出値:検体1kgあたりに含まれる水銀のmg数(ppm)	
検体名	産地	収去日	検出値
マアジ	長崎県	令和3年4月26日	0.02
マイワシ	静岡県	令和3年4月26日	0.02
マアジ	神奈川県	令和3年4月26日	0.04
ウスメバル	石川県	令和3年4月26日	0.06
ニシン	北海道	令和3年4月26日	0.03
ヒラメ	青森県	令和3年5月13日	0.06
マコガレイ	青森県	令和3年5月13日	0.05
マイワシ	千葉県	令和3年5月13日	0.02
ゴマサバ	静岡県	令和3年5月13日	0.18
マアジ	長崎県	令和3年5月13日	0.03
マアジ	島根県	令和3年6月17日	0.02
ヒラメ	青森県	令和3年6月17日	0.09
マイワシ	千葉県	令和3年6月17日	0.02
マイワシ	北海道	令和3年6月17日	0.02
イサキ	長崎県	令和3年6月17日	0.04

4 自然毒検査

(1) 貝毒検査

令和3年4月から6月までの貝毒検査は、下痢性、麻痺性ともに国産6検体、輸入4検体、合計10検体、3種の貝について実施しました。LC/MS/MSによる機器分析法により下痢性貝毒、マウス法により麻痺性貝毒を検査した結果、ホタテガイ1検体から規制値を超える麻痺性貝毒を検出し、生産県に通報しました。

なお、収去(しゅうきょ)とは食品衛生法及び食品表示法に基づく食品等の抜き取り検査のことを言います。

貝毒の規制値

- 下痢性貝毒は1kgあたり0.16mgオカダ酸当量(注釈1)以下
- 麻痺性貝毒は1gあたり4マウスユニット(注釈2)以下

注釈1:オカダ酸当量とは、測定で得られたオカダ酸、ジノフィシストキシン-1、ジノフィシストキシン-2の検出値に係数を乗じた値の総和のことを言います。

注釈2:マウスユニットとは、貝およびフグ等様々な毒素の影響量に対する単位のことを言います。麻痺性貝毒の場合、体重20グラムのマウスが15分で死亡する毒力が1マウスユニットと定義されています。

貝毒検査結果

下痢性貝毒検出値:検体1kgあたりのmg数(ppm)

麻痺性貝毒検出値:検体1gあたりのマウスユニット

検体名	産地	収去日	下痢性貝毒検出値	麻痺性貝毒検出値
ホタテガイ	岩手県	令和3年4月28日	0.02	11.02
ホタテガイ	北海道	令和3年4月28日	0.01	1.75未満
ハマグリ	千葉県	令和3年4月28日	不検出	1.75未満
アカガイ	外国産	令和3年4月28日	0.02	1.75未満
アカガイ	中国	令和3年5月27日	不検出	1.75未満
ハマグリ	中国	令和3年5月27日	不検出	1.75未満
ホタテガイ	岩手県	令和3年5月27日	不検出	1.75未満
アカガイ	ロシア	令和3年6月24日	不検出	1.75未満
ハマグリ	千葉県	令和3年6月24日	不検出	1.75未満
ホタテガイ	岩手県	令和3年6月24日	0.05	1.76

5 動物用医薬品検査(抗生物質、合成抗菌剤、ホルモン剤、内寄生虫用剤等)

令和3年4月から6月までの抗菌性物質検査は、冷凍エビ6検体について実施しましたが、基準値を超える検体はありませんでした。

なお、収去(しゅうきょ)とは食品衛生法及び食品表示法に基づく食品等の抜き取り検査のことを言います。

動物用医薬品検査結果			検出値:検体1kgあたりのmg数(ppm)		
検体名	産地	収去日	検出薬剤	検出値	基準値
冷凍エビ(養殖)	インドネシア	令和3年6月1日	なし	なし	なし
冷凍エビ	コロンビア	令和3年6月1日	なし	なし	なし
冷凍エビ(養殖)	フィリピン	令和3年6月1日	なし	なし	なし
冷凍エビ	ミャンマー	令和3年6月1日	なし	なし	なし
冷凍エビ	インド	令和3年6月1日	なし	なし	なし
冷凍エビ(養殖)	インドネシア	令和3年6月1日	なし	なし	なし